【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年1月24日(2022.1.24)

【国際公開番号】WO2020/162615
【出願番号】特願2020-571305(P2020-571305)
【国際特許分類】
*Ｃ０８Ｆ 2/48(2006.01)*
*Ｃ０８Ｆ290/06(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ 2/48
Ｃ０８Ｆ290/06

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月8日(2020.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一般式（１）
［ＲＳｉＯ３／２］ｎ　　（１）
〔但し、Ｒは（メタ）アクリロイル基を有する有機官能基であり、ｎは８、１０又は１２である〕で表され、構造単位中に籠型構造を有するポリオルガノシルセスキオキサンを主たる成分とするシリコーン樹脂（Ａ１）と、分子中に－Ｒ３－ＣＲ４＝ＣＨ２又は－ＣＲ４＝ＣＨ２〔但し、Ｒ３はアルキレン基、アルキリデン基又は－Ｏ－Ｃ（＝Ｏ）－基を示し、Ｒ４は水素原子又はアルキル基を示す〕で表される不飽和基を少なくとも１個含むと共に前記シリコーン樹脂（Ａ１）とラジカル共重合が可能な不飽和化合物（Ａ２）とを、１：９９～９９：１の質量割合で配合したシリコーン樹脂組成物（Ａ）と、
０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％未満である光重合開始剤（Ｄ）とを含む光硬化性シリコーン樹脂組成物であり、
前記不飽和化合物（Ａ２）は、その少なくとも２０質量％以上が水酸基を含む不飽和化合物であり、
前記シリコーン樹脂組成物（Ａ）に対して、光重合開始剤（Ｄ）が０．１質量％以上２０質量％未満で配合されることを特徴とする光硬化性シリコーン樹脂組成物。
【請求項２】
前記不飽和化合物（Ａ２）は、その１０～１００質量％が、分子中に－Ｒ３－ＣＲ４＝ＣＨ２又は－ＣＲ４＝ＣＨ２〔但し、Ｒ３はアルキレン基、アルキリデン基又は－Ｏ－Ｃ（＝Ｏ）－基を示し、Ｒ４は水素原子又はアルキル基を示す〕で表される不飽和基を少なくとも２個含む非シリコーン型の多官能不飽和化合物であることを特徴とする請求項１記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。
【請求項３】
（削除）
【請求項４】
さらに、０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％以上である光重合開始剤（Ｂ）を含むことを特徴とする請求項１又は２に記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。
【請求項５】

０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％以上である光重合開始剤（Ｂ）が、ヒドロキシフェニルケトン系光重合開始剤であることを特徴とする請求項４に記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。

【請求項６】

さらに、０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％以上である光増感剤（Ｃ）を含むことを特徴とする請求項１、２、４～５のいずれかに記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。

【請求項７】

０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％以上である光増感剤（Ｃ）が、ナフタレン系光増感剤であることを特徴とする請求項６に記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。

【請求項８】

０．０１質量％溶液の光路長１ｃｍ、波長３６０ｎｍの光透過率が９０％未満である光重合開始剤（Ｄ）が、α－アミノアルキルフェノン系光重合開始剤、フォスフィンオキサイド系光重合開始剤およびオキシムエステル系光重合開始剤からなる群から選ばれる１種以上の光重合開始剤であることを特徴とする請求項１、２、４～７のいずれかに記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物。

【請求項９】

請求項１、２、４～８のいずれかに記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物を、ラジカル共重合させ硬化させて得られたシリコーン樹脂成形体。

【請求項１０】

請求項１、２、４～８のいずれかに記載の光硬化性シリコーン樹脂組成物に、大気下で活性エネルギー線を照射してラジカル共重合させてシリコーン樹脂成形体とすることを特徴とするシリコーン樹脂成形体の製造方法。